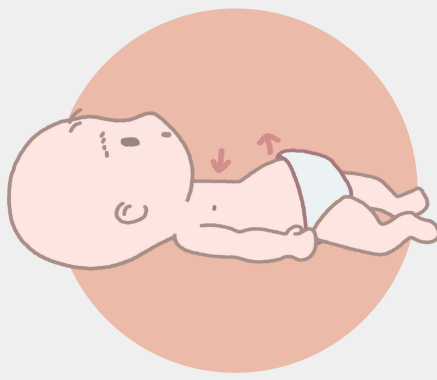


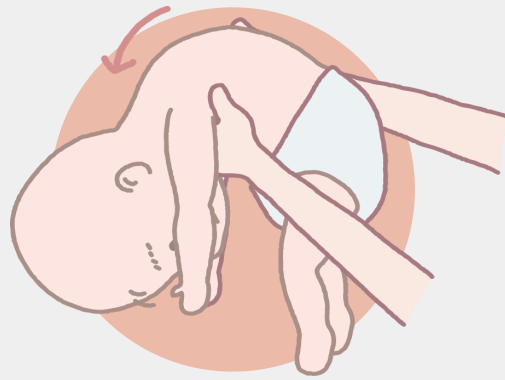
赤ちゃんに こんな症状ありませんか？



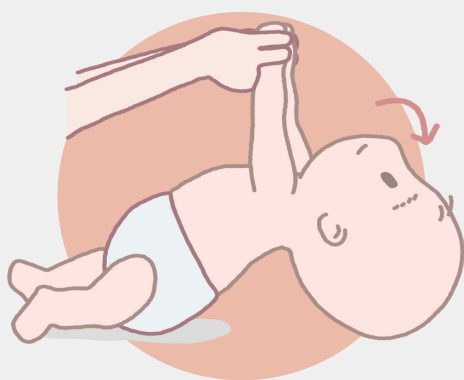
床に寝かせると、カエルの足のように
両足が開いて膝がペタッと
床についている



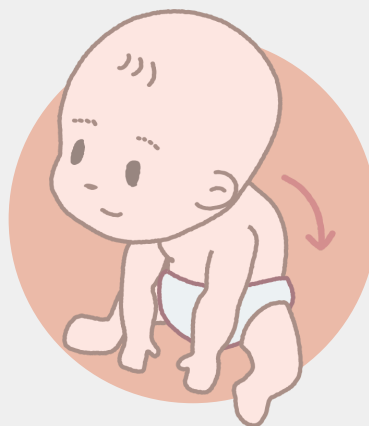
息を吸おうとするとお腹が膨らみ
胸がへこむ（シーソー呼吸）



うつ伏せで抱き上げると
頭が上がらず、手足もだらんとしている



引き起こすと頭がついてこない
頭を上げることが出来ない



腰と背中を大きく丸め
首を後ろにそらせた状態で座る
（月齢：6ヶ月以降）

※チェックは赤ちゃんが眠っている時ではなく、しっかり起きている時に行いましょう

それはSMA(脊髄性筋萎縮症)がもしれません！ ⇒1日でも早く小児神経医へ受診を！⇒

SMA(脊髄性筋萎縮症)とは

SMA（脊髄性筋萎縮症）は、運動神経の生存や機能維持に必要なタンパク質の産生が減少し、運動神経細胞の機能を維持できなくなっていく下位運動ニューロンの中枢神経系に起因する遺伝性の希少疾患です。手足や体幹、呼吸を司る脊髄の運動神経が障害され、全身の筋力が徐々に弱くなります。発症時期により、Ⅰ型からⅣ型までに分類され、発症が早いほど重症といわれています。重症の場合赤ちゃんの時期に運動発達が止まり、次第に食べることも呼吸することもむずかしくなってきます。

～SMAの治療～

2017年に核酸医薬品（スピリナザ®）、2020年に遺伝子治療（ゾルゲンスマ®）、2021年に経口薬（エブリスディ®）、治療薬が続々と発売され、現在も治療が行われています。いずれも早期治療・発症前治療により最大限の効果が期待できます。

1つでもピンときたら

○詳しいチェックリスト
○専門病院検索

～詳しくはHPをチェック！！～



チームいっちに（SMAの赤ちゃんを守る会）
SMA（脊髄性筋萎縮症）家族の会



SMA家族の会
脊髄性筋萎縮症

illustrations/杉本大地 @daichiandbon